

第1回清瀬市商工振興計画策定委員会 議事要旨

【開催日時等】

日時：令和6年10月21日（月）午前10時から午前11時

場所：清瀬市役所3階 会見室

【出席委員】

内野委員、赤坂委員、野島委員、里見委員、大嶺委員、内田委員、山崎委員、松村委員、八代田委員、森田委員、根岸委員、小寺委員、前川委員、植田委員

事務局：産業振興課長、商工係長、商工係主任

【配布資料】

資料1 清瀬市商工振興計画策定委員会委員名簿

資料2 清瀬市商工振興計画（平成31年3月策定）

資料3 清瀬市商工振興計画策定スケジュール

資料4 清瀬市商工振興計画策定委員会設置要綱

資料5 清瀬市商工振興計画策定委員会傍聴要領

【議事】

1 開会

2 市長挨拶

3 委嘱状交付

4 委員自己紹介

5 議題

（1）正副委員長の選出について

委員長は他薦にて内野委員が推薦される。全会一致で賛成となり、内野委員を委員長に選任。

副委員長は他薦にて赤坂委員が推薦される。全会一致で賛成となり、赤坂委員を副委員長に選任。

（2）委員会の傍聴について

清瀬市商工振興計画策定委員会傍聴要領に基づき、市民の傍聴の許可及び議

事録要旨の公開の承認を得る。

(3) 清瀬市商工振興計画の振り返りについて

事務局より、現行の商工振興計画の概要を説明する。

(質疑等)

委員：事業者向けアンケートの回答率が3割ほどである。どういった業種から回答があったのか。

事務局：回答割合として、卸売業と小売業が21%を占めている。続いて医療・福祉が15.9%、飲食・サービス業が11.3%、建設業と生活関連サービス業が10.6%である。

委員：その割合と、市内事業者の業種別の割合は同じくらいか。

事務局：近い割合と認識している。

委員：回答した事業者の規模は把握しているか。

事務局：法人63.2%、個人34.5%である。法人の内、資本金出資総額でとらえると5千万円以下が83.3%、5千万円を超えて1億円以下が8.7%、1億円を超えて3億円以下が2%、3億円を超えるものが3%である。

委員長：従業員数で把握しているか。

事務局：把握している。10人以下が76.3%であり、301人以上は1.3%程度である。

(4) 今後の議事の進め方について

事務局より、現状分析や施策反映の参考とするために、前回と同様に事業者及び消費者にアンケートを取りたい旨を説明し承認を得る。

今後の検討内容は下表のとおり承認された。

回数	内容
第1回	正副委員長の選任 清瀬市商工振興計画の振り返り
第2回	清瀬市商工振興計画に係るアンケート案の検討、確定
第3回	清瀬市商工振興計画に係るアンケート結果の報告
第4回	清瀬市商工振興計画（第二次）案の検討
第5回	清瀬市商工振興計画（第二次）案の検討

第 6 回	清瀬市商工振興計画（第二次） 案の決定
-------	---------------------

（質疑等）

事務局：前回のアンケートを参考に、各委員には現在の経済状況や社会状況を反映した質問内容を勘案いただき、事務局に提出していただきたい。第 2 回委員会で質問事項について検討し質問内容を決定したい。

委員長：全面的に内容を変えると変化が把握できないが、SDGs やデジタル化など新しい部分はアンケートに追加したい。そうした点に注意いただき、事務局の指示に従い提出してほしい。

委 員：アンケートの質問と回答の内容を考えればよいのか。

事務局：質問内容とその回答の選択肢を勘案いただきたい。

委員長：事業所目線と消費者目線それぞれで勘案するということか。

事務局：お見込みのとおり。

委 員：アンケートの対象者数は変更するか。

事務局：消費者は無作為抽出で 18 歳以上を 1,000 人、事業者は 800 事業者を予定している。市内事業者数は約 1,700 件であるため、およそ半分となる。前から事業者数を倍にして、多くのデータを得たい。

委員長：アンケートの内容を基に本計画の内容を決定していく。質問内容によって計画の方向性が定まるので、アンケートについてしっかり考えていただきたい。

委 員：本計画は新たに策定される第 5 次清瀬市長期総合計画（以下、長期総合計画）とかかわりがある。長期総合計画の策定過程で、施策と事業内容が決まっていく。その内容との関連を随時確認していく必要がある。

委員長：長期総合計画と本計画は並行して策定される。本委員会は商工振興計画を検討する場であるので、長期総合計画との内容の調整は事務局にお願いしたい。相互に関連する内容となればよい。

6 その他

次回開催日：令和 6 年 12 月 3 日（火）午前 10 時～

清瀬市役所 2 階 市民協働ルーム